

融合IT人材育成連絡会

融合IT人材育成の議論に向けて

2013年8月1日



一般社団法人

経営情報学会

経営情報学会のMission and Objectives

2001年3月8日

- MISSION

- これからの企業, 組織, 社会, また個人にとって, 情報技術の利用は, ますます重要になっています。しかし, 情報技術の開発に比べて, その利用についての理論的研究は十分なされていないとは言えません。
- 経営情報学会の使命は, 情報やコミュニケーションと経営の接点に関心を持つ研究者, 実務家, および教育者に対して, 企業, 組織, 社会, また個人の情報および情報技術の活用に関する対話の場を提供することです。

- OBJECTIVES

- 経営情報学会は, 次の活動を行うことにより, 情報および情報技術の活用についての知識の研究・普及をはかります。
 1. 情報および情報技術の活用に関する知識の源泉となることをめざします。
 - 研究会, シンポジウム, ワークショップ, 講演会, 研究発表大会などを通じた対話の場の提供
 - 学会誌や普及誌, WWWページなどによる情報の共有
 - 情報および情報技術の活用に関する研究および調査
 2. 内外の関連学会との連絡および協力を通じて, 情報および情報技術の活用に関する我が国における中心的な学会となります。
 3. 情報および情報技術の活用に関する研究, 事例研究および調査についての評価を通じて, その奨励および促進をはかります。
 4. 情報および情報技術の活用を推進できる人材を育成する方法の研究・普及をはかります。

経営情報学会の人材育成への取り組み

- 2007年6月 2007年度春季全国研究発表大会／横浜国立大学
 - － 統一テーマ「経営情報型人材を育成せよ！」
- 2008-10年度 人材育成委員会
 - － JABEE経営工学分野およびComputing分野の認定・評価、経営情報教育カリキュラム、経営情報人材スキル、経営情報関連の国外学会の国際動向など
- 2008-12年度 経営情報人材育成研究部会
 - － 経営情報人材の基本的要件、経営情報人材育成の方法論、経営情報人材育成のための教材、情報人材育成の質保証と国際的同等性など
- 2013年6月 拡大研究委員会
 - － 融合IT人材育成、経営工学関連学会協議会JABEE委員会、・・・

2007年度春季全国研究発表大会(横浜国立大学)

「経営情報型人材を育成せよ！」

- 趣旨

- 経営情報型人材とは、ビジネスとICTの両方に精通し、ビジネスの効率改善と変革のために効果的かつ戦略的にICTの活用を構想できるCIO予備軍というようなイメージです。組織において、異なる分野の知識の共有化と新たな知識の創造を促進するエージェントということもできるでしょう。少子高齢化の進展とともに、様々な事業分野においてこのような人材が強く望まれるようになっていきます。それに呼応し、大学においても文理融合が叫ばれて久しいですが、ビジネスとICTの両者をしっかり身に付けた人材を果たしてどれくらい世に送り出しているのかとなると疑問です。両者の知識を有機的かつ創造的に結合できる人材となるとさらに厳しいでしょう。一体、大学教育のどこに問題があり、どのような改善が可能なのでしょうか。産学協同も最近のキーワードですが、どのような産学協同プロジェクトが経営情報型人材の育成に効果的なのでしょうか。企業と大学等教育機関とは人材開発に関してどのような形で協力していくべきなのでしょうか。欧米やアジア諸国では、経営情報型人材の育成にどのように取り組んでいるのでしょうか。e-learningは経営情報型人材開発とどのような関わりを持つのでしょうか。企業経営における情報の意義、さらにICTの役割に関する議論を踏まえつつ、将来を見据えた教育論議を交わすことが必要な時期に来ているのではないかと思います。このような議論は、必ずしも経営情報型人材だけではなく、様々なタイプの人材開発にも関わりをもつ掘がりをもちものとなるでしょう。

- 特別講演「我が国におけるICT人材育成の課題と展望」

- 清水康敬氏(メディア教育開発センター理事長)
- 主要な話題:「プロジェクトマネージャー、ITアーキテクト、ITコーディネータ、組み込みソフトの専門家等の高度IT人材の育成を促進し、産業界における高度IT人材の需給のミスマッチを解消する」ことを目的としたIT新改革戦略(世界に通用する高度IT人材の育成)、e-Learningへの展開

- 「ERP展望」大会企画セッション

- 主要な話題:ERPベンダー(製品戦略)、ERPユーザ企業(導入事例)、大学(ERP活用事例)、および経営情報人材育成のあり方、体験型教育の重要性など

経営情報人材育成研究部会2009年シンポジウム(2009.7.12明治大学)

いま求められるIT人材育成

- ISユーザとしてのIT人材をいかに育成すべきか。高等教育機関はそれにどう応えるか。(UISS, COBIT, UISSの企業における利用動向と活用事例をもとに)
- (1)UISSとIT人材育成
 - 1. 利用者側のTo-BeのIT人材像としてのUISS(戦略系人材、ソリューション系人材、管理系人材)
 - 2. 企業におけるIT人材の実情(間接部門、素人集団、蛸壺組織、下請け部門、人柱部門—戦略人材やソリューション人材が育つ土壌ではない。)
 - 3. 企業におけるITの役割によって変わる求められるIT人材(IT＝管理手段型、処理手段方型、改革手段型、顧客サービス型)
 - 4. UISSを活かした人材育成についての現場での論点
 - ソリューション人材 自分が作らなくても外部のソリューション人材の管理ができるのか。
 - 戦略系人材 システムを作ったことがなくてもシステムで何ができるかわかるのか。
 - 業際人材の必要性 企業に必要なのはある分野だけの専門家ではなく複線型人材ではないか。
 - アーキテクトやストラテジスト 業務とシステムを経験しても器用な人はできるが、創造性は生まれないのではないか。
 - 5. 企業で通用するIT人材候補育成に関する教育機関への期待
 - 仮説－モデル－プロトタイプ－検証の実体験の場を作ることが望まれる。
- (2)ITマネジメントについて
 - 企業における複数のシステム(IT)のライフサイクルの管理を体系化するITマネジメントは、米国、英国から考えられ始め、ここ数年わが国でも取り上げられるようになってきた、それらには、ITIL(Information Technology Infrastructure Library)、CMMI(Capability Maturity Model Integration, 能力成熟度モデル統合)、COBIT(Control Objectives for Information and related Technology)がある。このITマネジメントを俯瞰することにより、ITに関連する組織、体制、スキル判断を伴った人材配置、育成計画ができるようになるのではないか。
- (3)ISユーザにおけるUISS、COBITの導入と活用
 - UISS、COBITの導入・活用の経緯や現場での苦労等を説明しながら、企業のシステム部門として、どのようにすればUISS、COBITは活用できるのか、またその課題について説明。
- (4)韓国の大学におけるMIS教育の質向上に関する取り組みと課題
 - Namjae Cho氏(韓国経営情報システム学会(KMIS)経営情報システム教育研究部会)
 - 直面する課題:カリキュラム(標準化と差別化)、教育方法・手法、経営情報学と経営情報専門職の同定、産学間コミュニケーション、国際異文化協働、地域固有の問題

経営情報人材育成研究部会2011シンポジウム(2011.10.28 松山大学)

いま求められる経営情報人材 —高等教育機関が担うべき役割—

- グローバルIT～企業が期待する経営情報人材の育成
 - グローバルIT企業のタレントアクイジション
 - 今後の活躍を期待される一般的な人材像
 - Business Literacy, Specialty, Professional, English, Personal Identity
 - 経営情報の視点をもつ人材の重要性
 - 課題解決の情報活用のみならず、情報からの課題発見ができる人材も求められる。
 - 過去の事例に学び実験により検証するような教育も必要
 - 経営情報とビジネスキャリア
 - ビジネスは価値創造、実行が重要。
- 経営情報人材が育つ組織(～ITリーダー養成の経験から～)
 - 経営視点を持ったIT人材: 経営課題を解決するために、事実と情報に裏付けられた自身の意見をもち、自社のサービスや商品(あるいは価値)について知識をもち、リーダーシップを兼ね備え、信頼があり、人間性、対人能力を有し、経営企画部門やユーザ部門から頼りにされるITプロフェッショナル。
 - 「本質を考える(捉える)」能力と「実施(行動)する」能力
 - 職場で持っている問題を持ってきて、どう解決できるかを探りながら、問題解決能力を開発(アクション・ラーニング)

経営情報人材育成研究部会2013シンポジウム(2013.3.4 横浜国立大学)

情報サービス産業界が高等教育機関に求める教育

ー経営系・経営情報系教育プログラムを焦点としてー

- 情報サービス産業が求める人材のスキル
 - ー 高等教育機関に対して望む教育について(近年の大学卒業生の傾向と情報サービス産業が求める人材像を踏まえて)
 - ー 主な話題: 情報技術者教育の在り方について、業界が求めるもの、「要求定義」に求められる基本的要件、プロジェクトマネジメント力育成のために業界ができること
- 大学は産業界の求める人材育成にどう応えたらよいか
 - ー 筑波大学でのPBL教育事例を通じて、産業界の求める人材の育成に効果的な教育と、産学連携による教育の課題などについて
 - ー 主な話題: 産業界ではどういう人材を求めているか、筑波大でのリアルPBLの紹介、産学連携による教育の課題

FMES/JABEE委員会

- 経営工学関連学会協議会 (FMES)
 - 日本経営工学会、日本オペレーションズ・リサーチ学会、日本品質管理学会、日本信頼性学会、研究・技術計画学会、日本設備管理学会、経営情報学会、プロジェクトマネジメント学会
- FMES/JABEE委員会
 - JABEEの委託を受けて経営工学関連分野の審査を行う母体として設立 (2001.4)
 - ソウル協定 (2008.12.6) を契機にコンピューティング分野 (IS, 情報一般) の認定審査の検討に関与
 - 情報系認定審査 (CAC) 検討WG (2007.8)、情報系認定審査 (J-CAC) 準備委員会 (2008.7)、情報系認定審査 (J-CAC) 制度検討委員会 (2009.4)、JABEE ソウル協定対応基準部会 (2010.4)、JABEE ソウル協定対応プログラム部会 (2011.6) など
 - 2011年12月10日ソウル協定説明会 (JABEE主催、FMES, IEEJ, IEICE, IPSJ共催)